

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2017 助成の概要と推薦理由

助成番号 17-2-1

プロジェクト名 ニコゼミ 2018 最小で最大のコミュニケーションに出逢う!!!
団体名 認定特定非営利活動法人ニコちゃんの会
代表者名 森山 淳子
所在地 福岡県
助成額 180万円
助成期間 2018年4月1日～2019年3月31日
設立年 1992年
URL <http://www.nicochan.jp/>



自宅で暮らす重い病気や障がいのある子どもたちは、医療や福祉が生活の中心になりがちで、それらの専門職以外の人たちと出会い、対等に接する機会が非常に限られている。また専門職以外の人たちは、どのように接したらよいかを知る機会が少ないことから、出会い方によっては表情や動きの見えにくい彼らを、意志や感情がないものと捉えがちである。

この団体は、重い病気や障がいのある人や家族の周りにいるあらゆる人が、互いに「こころ豊かに過ごすこと」を目的に、本人が楽しめるイベントの実施や福祉サービスの提供、文化芸術、啓発、調査研究等の活動を行っている。

前回の助成では、在宅療養児に関わる人材育成のために、4段階からなる「ニコゼミ」（コミュニケーション講座）に取り組み、29人（のべ82人）が受講した。講座は子どもや遊び・アートに関する各分野の専門家による「連続講座」、在宅療養児と遊ぶ「実践」等を行い、最終段階の「あそばく」（報告会）では、その間の経験や学びを通じて得られた気付きや関係性などをもとにインスタレーション展示を行い、広く社会に向けて成果報告と発信を行った（一般来場者200名程度）。この間、順次HPやFacebook等を通じてゼミの様子を報告するなど積極的な情報発信も行われ、発信力も高く評価された。

今回の助成では、引き続き在宅療養児に関わる人材育成に取り組むが、構成を「オリエンテーション（講座）」「実践」「報告会」とし、「実践」では新たに屋外の自然環境の中での「キャンプ」（春・秋）に取り組み、団体に適した方法のバリエーションづくりを試みる。

本育成プログラムは、単に知識や技術を伝えるものではなく、当事者との「コミュニケーション」からアプローチするもので、本団体ならではのユニークな企画である。また、当事者と家族を社会に繋ぐ視点からの機会提供も踏まえている。本助成を通じて、重い病気や障がいのある子どもの支援に関心のある人たちに機会が提供されること、広く一般の人々の気づきにつながることで、「ニコゼミ」の基礎が強化されて今後の法人の事業としての定着につながることで、などを通じて地域における受け皿づくりが進むことを期待して助成する。